

令和2年度事業報告

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

1. 概況

本会は、活動理念である「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」に則り地域に密着した活動を展開しております。しかしながら、令和2年は新型コロナウィルス感染に振り回された一年となり、会員の皆様同様、以下記載の通り、一部を除き大半の事業が中止ないし従来の方法では実施できないという、異例の年となりました。

具体的には、税知識の普及、納税意識の高揚を目的とする「決算期別説明会」、「新設法人説明会」、「軽減税率制度説明会」、青年部会・女性部会による税務研修会、加えて青年部会の小学6年生のクラスに出向いての租税教育活動は開催中止となりました。

なお、小学6年生を対象とする絵はがきコンクールは女性部会役員が中心となり、県内他の女性部会と歩調を併せて実施いたしました。

「租税負担の合理化」として、毎年実施している税制提言は、中小企業の活力向上のための税制措置拡充と本格的な事業承継税制を中心に『令和3年度税制改正に関する提言』に反映させ、本会では、各首長、地元選出国會議員への要望陳情活動は、例年通り実施しました。

「経営・経理及び申告記帳知識等の普及」目的の「初級簿記講座」、女性部会による幅広いテーマの「経営研修会」は開催中止となりました。なお、本会並びに青年部会の「特別講演会」は、新たにオンラインによる講演会として実施いたしました。

「公益と社会貢献」である地域社会の健全な発展に貢献するものとして、各支部が実施する諸事業では、日本赤十字社の献血協力を除き、多数の来場者の感染を防ぐために中止となりました。

なお、寄付である、女性部会が行う通年のエコキヤップ・使用済み切手の回収によるリサイクル促進、CO2の削減、発展途上国への医療支援などの活動は実施いたしました。

「会務運営の円滑化」のうち、福利厚生等に資する諸事業の推進により会員本人・家族を守るとともに会員企業の経営安定化を図る活動は、限定的とはなりますが密を回避しながら行いました。

結びにあたり平成24年4月に公益法人として生まれ変わり、異例の年とはなりましたが9期目を終了することが出来ました。役職員一同、会員の皆様ならびに地域社会に従来にましてお役に立ち、そして貢献できるよう、引き続き今後も活動してまいりたいと存じますので宜しくお願ひ申し上げます。

当事業年度の各支部、各委員会、各部会の活動の詳細は次頁以降に記載の通りです。

2. 4支部(朝霞・志木・和光・新座)

4支部では、下記の通り、それぞれ会員ならびに非会員を対象とした交流による地域の発展・活性化を目的として社会貢献活動を予定しておりました。また、地域企業の異業種交流並びに情報交換等を目的とした賀詞交歓会・親睦研修は一部を除いて開催中止となりました。

(1) 朝霞支部

朝霞支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、第15回黒目川花まつり(ウイーク)は令和3年3月27日から4月4日にかけて縮小開催となりました。市内小学生や保育園児が描いた絵をはった灯籠が設置され、夕方から夜にかけてライトアップされました。

第37回朝霞市民まつり(彩夏祭、令和2年10月23日～25日)、黒目川堤防清掃活動(令和3年2月14日)、支部賀詞交歓会、親睦親睦研修旅行は新型コロナウイルスの感染予防のため中止となりました。

(朝霞支部に関連した事業・会議等詳細は、8、15、16、17 ページ に記載)

(2) 志木支部

志木支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、例年実施する「川と街をきれいにする運動」(令和2年5月9日、10月25日)、志木市コミュニティ協議会にぎわい創出委員会メンバーとして第4回さくらフェスタ事業協力(令和3年3月27日～28日)、支部親睦研修旅行、賀詞交歓会(令和3年1月28日)は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

(志木支部に関連した事業・会議等詳細は、8、15、16、17 ページ に記載)

(3) 和光支部

和光支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、日本赤十字社に対して恒常に不足している献血協力(令和2年9月7日)に、支部・青年部会・女性部会の会員の協力を仰ぎ実施しました。

当日の実績は、出席総数85名、うち一般の人数は65名とコロナ下の中、多くの方の協力を頂きました。併せて、税の啓発用冊子の無料配布や入会案内等を通じ法人会のPRに努めました。

支部親睦研修旅行は、栃木方面に行ってまいりました。(令和2年11月14日～15日)

また支部賀詞交歓会は新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

(和光支部に関連した事業・会議等詳細は、8、15、16、17ページ に記載)

(4) 新座支部

新座支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、第3回新座支部まつり（令和2年10月31日～11月1日）を「新座市民まつり 産業フェスティバル」会場での開催を支部・青年部会・女性部会の会員の協力も仰ぎ準備を進めてまいりましたが、新座市民まつり産業フェスティバルが新型コロナウイルス感染防止のために中止となり開催できませんでした。

支部親睦研修旅行は、熱海方面（令和2年10月21日～22日）と、役員新年会（令和3年1月15日）も予定しておりましたが新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

（新座支部に関連した事業・会議等詳細は、9、15、16、17ページに記載）

3. 総務委員会

総務委員会は事業計画に基づき、以下の諸事業を実施しました。

- (1) 第9回定期総会開催準備並びに議事運営の統括を実施。
- (2) 令和2年度収支予算の執行状況の確認、並びに令和3年度収支予算の取り纏め。
- (3) 法人会ならではの異業種の交流の場を提供する「ビジネス交流会」は、新座支部まつりの同会場にて、令和2年11月1日、よろず相談室として税金・融資をはじめ、さまざまな相談に対応すべく準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。
- (4) 令和2年度の経常収益中、会費収納は、会員各位のご理解・ご協力により推進をいたしましたが休廃業等の退会があり期初予算を下回りました。会費未納については、事務局による訪問集金等による依頼活動を粘り強く進めた結果、前年に続き未納会費はなくなりました。

（総務委員会に関連した事業・会議等詳細は、9、10、17ページに記載）

4. 組織委員会

組織委員会は事業計画に基づき、「役員による1人1社の新規会員獲得運動」を実施しました。

- (1) 税務署・税理士会・地元金融機関・提携生損保・法人会による五者懇談会の開催は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。具体的な組織拡大は年間を通して活動しておりますが、コロナ禍のなか役員各位の各支部単位での加入勧奨推進活動と地元金融機関への加入勧奨依頼も活動が制限されるなか思うような推進ができませんでした。
- (2) 新規会員獲得運動は、役員・会員のみなさまが中心となり、また地元金融機関、大同生命保険株式会社、AIG 損害保険株式会社、アフラック生命保険株式会社のご協力も仰ぎながら進めた結果、28社の新規入会を頂きました。他方、休廃業・移転等を理由とする、やむを得ない退会があり、3月末の会員数は、前期に比べ44社少ない2,055社となりました。

（組織委員会に関連した事業・会議等詳細は、10、12ページに記載）

5. 研修委員会

研修委員会は事業計画に基づき、税務・経営・経理をはじめ会員・非会員を問わず、ニーズに即した研修事業、加えて地域社会の発展に貢献する諸事業の実施を予定しておりました。

(1) 税務当局、税理士会の協力を頂き、「決算期別説明会」「新設法人説明会」「軽減税率制度説明会」、新たに経理担当者となった者を対象とした初級簿記講座、そして主に新入社員を対象とした職場のマナー研修会の開催など幅広い受講者を対象とした研修は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

(2) 著名な講師による時局に合ったテーマを選択しての特別講演会は年2回オンライン開催、会員以外にも多くの一般の方々の参加を頂き好評を博しました。

(研修委員会に関連した事業・会議等詳細は、10、12、15ページ に記載)

6. 税制委員会

税制委員会は事業計画に基づき、税制改正提言のとりまとめ・提言活動等の諸事業を実施しました。

(1) 埼玉県下15単位会の税制委員会は、税制に関する意見具申ができる、ことが会の最重要活動であり「令和3年度税制改正に関する提言」へのアンケート調査を令和2年5月郵送・インターネット等でお願いしました。多くの方から回答を頂くことが出来、県下会員の意見を反映した調査結果を取り纏め、総意を上部団体である全法連に提出、先の事業概況で述べたとおり、全法連が集約した本提言書を政府・各政党・そして当会では各首長・地元選出国会議員に直接持参し要望陳情活動を行いました。

(2) 令和2年10月8日、第37回法人会全国大会(岩手)での税制改正要望式典は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

(3) 令和2年11月16日、「法人会指定税務講習会」を開催、2部構成で、講師は第1部を朝霞税務署 統括国税調査官、第2部は、朝霞税務署長にお願いし、テーマは、それぞれ1部は「適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)について」、2部は「税務雑感」ということで、具体的な事例に基づいた盛りだくさんの講演で、好評を博しました。

(税制委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、13、14、15ページ に記載)

7. 広報委員会

広報委員会は事業計画に基づき、ホームページ並びに広報紙による税情報の発信を基本に一般の方にも広く親しんで貰えることを念頭に活動を行いました。

(1)広報紙「法人NAVI」の発行は、年4回行い、掲載記事は一般市民にも役立ち・楽しめる内容となるよう編集に工夫をこらしました。

また、当会 QR コードを作成、広報紙の表紙に掲載、読み取り頂くと、当会ホームページを閲覧出来ますのでご活用下さい。その他一部の印刷物にも掲載しております。

(2)当会のホームページについてもフェイスブックの活用により、講演会・研修会・各支部で実施した社会貢献活動など、その都度画像を更新、会の活動を会員はじめ誰もが身近に感じてもらえたとの想いで掲載しています。是非ご覧ください。

朝霞法人会ホームページのアドレス(<http://a-hojinkai.or.jp/>)

(3)屋外の法人会「看板」の設置は、朝霞、志木、和光、新座市内に設置させていただいており、
本会の PR 活動の一環として今後も適宜増やしてまいりたいと思います。

(広報委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、14ページ に記載)

8. 厚生委員会

厚生委員会は事業計画に基づき、会員に有効となる福利厚生事業の利用促進を念頭に活動を行いました。具体的には、上部組織である全法連決議に基づき、平成31年・令和元年度のキャンペーンを“想いをつないで50年「会員企業を守りたい」”として推進による事務手数料収入(公益目的事業助成金)の増加計画を展開しました。 対象 会員ならびにその従業員

○「新契約保険金額」

(令和2年4月～令和3年3月実績)

単位会	新契約保険金額(単位:万円)					
	目標	実績	進行率	うちJタイプ		
				目標	実績	進行率
朝霞	278,000	168,100	60.5%	31,000	9,100	29.3%
県連計	5,750,000	3,997,150	69.5%	634,000	498,000	78.5%

○ 新規企業

目標企業数 16社 実績 11社 ⇒ 68.8%

○ 紹介による成約企業

目標企業数 10社 実績 10社 ⇒ 100.0%

○ 大型保障制度役員加入率75%台の維持

朝霞 65.2%(令和2年3月末) ⇒ 63.6%(令和3年3月末)

○ 青年部・女性部による推進

青年部 新契約企業數目標9社 ⇒ 3社

女性部 新契約企業數目標9社 ⇒ 1社

令和2年度事業報告

- (1) 每年秋に開催される生活習慣病健康診断ならびに一般定期健康診断の利用は、会員特別料金の設定により多くの申し込みを頂きました。健康面から会員加入のメリットを実現しており、未利用会員は是非とも新規のご利用をお願いします。(令和2年度4回実施)
(厚生委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、17ページに記載)

9. 青年部会

青年部会は事業計画に基づき、青年経営者が中心となり下記の様々な活動計画しておりました。

- (1) 令和2年度事業報告会並びに慰労会、第34回全国青年の集い島根大会(令和2年11月6日～7日)、税理士会青年部会による税務研修会と意見交換会・懇親会、次代を担う児童・生徒に税の意義や役割を正しく理解してもらい、税に対する理解が国民各層に広がっていくことを目的として行う学校に出向いての租税教室は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。
- (2) 青年部会経営研修会は、コロナ禍のなか工夫を凝らしてオンラインによる研修会を開催、講師は、活躍中の若手経営者にお願いし、一般参加者も多数参加いただきました。
(青年部会に関連した事業・会議等詳細は、11、13、15ページに記載)

10. 女性部会

女性部会は事業計画に基づき、女性経営者が中心となり下記の様々な活動を予定しておりました。

- (1) 第15回全国女性フォーラム愛媛大会(令和2年11月25日～26日)、年2回シリーズで開催の女性部会税務研修会、女性部会租税教室(親子でタックスツアー)(令和2年8月19日)、女性部会の相互の親睦を目的とした親睦研修旅行、女性部会特別講演会は、新型コロナウイルス感染予防の為に中止となりました。
- (2) 第5回税に関する絵はがきコンクールを実施しました。親会・青年部会の協力を仰ぎ、管内の小学校44校の6年生を対象として、「税の大切さ」、「税の果たす役割」について学び、その知識や感想を絵はがきにすることで、税に対する理解をより深めてもらうことを目的に夏休み前の6月に募集を開始、令和2年12月2日に密を回避しながら優秀作品の表彰を行いました。
- (3) 通年で女性部会としてエコキヤップ・使用済切手回収推進運動を行い、活動した結果、エコキヤップの受領個数65,790個(153kg)、使用済切手は、1,540g、概算額2,464円となり、特にエコキヤップについては、前年に続き多くの回収実績となりました。
(女性部会に関連した事業・会議等詳細は、12、13、14、15、16、17ページに記載)